保護者等向け放課後等デイサービス評価表(公表)

オレンジスクール 小岩教室

事業所名

公表:令和6年3月31日 44通 73% 発行数 回収数 32通 割合 どちらとも いえない わからない チェック項目 はい いいえ ご意見をふまえた対応 ご意見 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか 4 0 0 職員の配置数や専門性は適切であるか 0 0 27 5 境 体 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリ アフリー化の配慮が適切になされているか 整備 3 20 11 0 0 (4) 事業所の支援の質は適切であるか 30 2 0 0 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された 0 (5) 32 0 0 上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか 放課後等デイサービス計画に基づき、支援が実施され (6) 30 2 0 0 ているか な支援 放課後等デイサービス計画に記載された目標が達成さ (7) 0 0 29 3 れているか 提 活動プログラムが固定化されないよう工夫されている 8 0 0 26 6 不必要 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子 どもと活動する機会があるか 10 9 13 0 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなさ 10 れたか 日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの 11) 31 1 0 0 発達の状況や課題について共通理解ができているか 親側からの疑問質問に対しての助言は丁寧 にいただけるが支援者側からもこのように 疑問、質問以外の困りごとに対しても具体 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が 12) 30 2 0 0 的に、 適切な助言していけるように致しま 行われているか したほうが良い、などあるとなお良いと思 必要 不必要 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により (13) 保護者同士の連携が支援されているか 0 14 8 9 の 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦 14) 25 0 0 明等 情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配 (15) 30 2 0 0 慮がなされているか 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果 (16) 6 0 24 1 を子どもや保護者に対して発信しているか 17) 個人情報に十分注意しているか 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている 0 の対応 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他 19 27 5 0 0 必要な訓練が行われているか 今後もお子様にとって楽しく、それでいて 学びになるような支援を目指して参りま オレンジさんが子供の安全基地となってお (20) 子どもは通所を楽しみにしているか 26 6 0 0 度 安心して利用させていただいています 保護者の方々に信頼、ご満足していただけ 21) 事業所の支援に満足しているか 28 0 0 個々に寄り添った細やかなご指導、本当に るよう、今回の評価表をもとに改善に努め ありがとうございます。 て参ります。

)この「保護者向け放課後等ディ その結果を集計したものです。

〇この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計 (公表) 」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、

事業者における放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表:令和6年3月31日 事業所名 オレンジスクール 小岩教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	~			学習する場と遊びの活動をする場 を視覚的にわかりやすくなるよう に分けています。	お子様がよりよく過ごせるよう、 必要に応じ、その都度、構造化の 工夫をしていきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	~			お子様に目が行き届きやすくなる ような活動環境づくりをしていま す。	法を遵守しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適 切になされているか		~		事故なく安全に過ごせるよう、環 境設定するようにしています。	今後、ニーズに応じて設備の見直 しを行っていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	>			会議や毎日のミーティング、記録 での情報交換など、常勤、非常勤 の垣根を超えて支援に参画できる ようにしています。	PDCAサイクルを回すために、意見が言いやすい環境づくり、守りやすい場ではいいいしいといいですいいしいからいいしい作りを行っていきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に つなげているか				毎年、アンケートを実施していま す。	毎年、アンケートを実施していま す。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ 等で公開しているか				公表しています。	公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に つなげているか				第三者評価は実施していません。	今後、検討していきます。
	8	職員の資質を向上を図るため、研修や学習の機会を確 保しているか				外部でも内部でも研修を実施して います。	外部研修を受けた際には、積極的 に伝達研修を行っていけるように します。
	9	支援の質の向上を図るため、研修や学習の機会が確保されているか				資格取得を目指した学習も行って います。	⑧と同様。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズ や課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービ ス計画を作成しているか	Z			情緒特性、障害特性、認知特性、 学力水準の観点からアセスメント を行います。そのほか、日々の行 動観察からお子様の行動の原因を 検討し、それにあった支援計画を 考えています。	アセスメントは日々行っていく必要のあるものなので、とくに記録やミーティングでの情報共有を強化していきます。
	11)	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化された アセスメントツールを使用しているか	V			アセスメントツールはないので、 外部で行った検査結果は保護者の 方からいただくようにしていま す。	現状、ツールはありませんが、特性ごとにアセスメントを行っています。検証と支援方法の立案に日々取り組んでいきます。
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか				プログラム以外にも活動の際の ルールについても常勤、非常勤の 垣根を超えて検討できるようにし ました。	左記の通り、継続していきます。
	13	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか				学習プログラムは、毎回個々の ニーズに合わせて課題を準備して います。	左記の通り、継続していきます。
	14)	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに 設定して支援しているか	~			平日と休日で時間割を決めて活動しています。休日は中高生が多いため、年齢層に合わせて集団活動を行っています。	小学校高学年~高校生のお子様が 増えているので、発達段階に応じ て活動を提供していけるようにし ます。
適切な	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組 み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している か				学習は個別活動メインで、遊びを 通した療育は集団の中で表れる課 題を目標に設定しています。	左記の通り、継続していきます。
な支援の提供・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16	放課後等デイサービス計画に基づき、支援を実施して いるか				計画は全体会議で共有し、日々の ミーティングでも計画に沿った申 し送りをするようにしています。	目標に向けて支援するだけではなく、評価や見直し、次回に向けて の改善点の共有などにも留意して いくようにします。
	17	放課後等デイサービス計画に記載した目標が達成できているか				支援の前に行う日々のミーティン グで課題や目標を共有するように しています。	 目標が抽象的にならないよう、留 意していきます。
	18	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日 行われる支援の内容や役割分担について確認している か	Z			毎日、ミーティングを行っています。前回の様子を振り返ったり、 お子様の課題や目標を共有したり します。	支援に連続性が持てるように、前 の週からの引き継ぎ事項を当日の 工夫につなげていけるようにしま す。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その 日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共 有しているか	✓			送迎業務があるため、終了後の打ち合わせはできませんが、記録には気づいた点等を残すようにし、 翌週のミーティングで共有しています。	非常勤職員のシフトの都合や送迎 の業務の関係でその日すぐに振り 返りをすることは難しですが、休 日については当日中に行うように しました。今後も継続していきま す。
	20	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、 支援の検証・改善につなげているか	~			オンラインシステムを利用し、全職員が記録を共有できるようにしています。	左記の通り、継続していきます。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表:令和6年3月31日 事業所名 オレンジスクール 小岩教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	21)	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス 計画の見直しの必要性を判断しているか				半年ごとに全職員で目標の見直し を行っています。	左記の通り、継続していきます。
	22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支 援を行っているか		M		お子様の意思を尊重するシーンを 作りながら、小集団での活動や個 別の学習支援、創作活動や余暇活 動を提供しています。	左記の通り、継続していきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子 どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画してい るか				管理者兼児童発達支援管理責任者 が参画しています。	左記の通り、継続していきます。
	24)	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	~			年度の初めに学校、すくすくス クールに指導員の顔写真と送迎車 の写真をお渡ししています。	左記の通り、継続していきます。
	25	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子ど もの主治医等と連絡体制を整えているか				対象になる児童はおりません。	対象になる児童はおりません。
	26	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども 園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理 解に努めているか	~			ご家庭より「就学支援シート」の ご提出を必要に応じていただいて います。	対象になる児童はおりませんが、 新1年生を1学期から受け入れる場合は行っていきます。
	2	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害 福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支 援内容等の情報を提供する等しているか				対象になる児童はおりません。	ご希望に応じて引継ぎを行いま す。
	28	児童発達支援サンターや発達障害者支援センター等の 専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	~			発達支援相談センターのABA講座 を受講しました。	関係機関とのつながりは今後も積極的に持っていけるようにします。
	29	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子 どもと活動する機会があるか				行っておりません。	保護者から要望があれば検討します。
	30	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			~	参加しておりません。	参加しておりません。
	31)	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	~			オンラインシステムのマイページ を利用し、支援終了後毎回様子を お伝えしています。	面談以外の場でも送迎時やHUG のコメント欄、LIMEや電話等での やりとりも大事にしています。
	32	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対し てペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		\		ペアトレ自体は行っていません が、モニタリング面談やお電話で 相談を受けています。	細やかに連携が取れるよう、保護 者の方の気持ちにも配慮しながら 対応して参ります。
保護者への説明責任等	33	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な 説明を行っているか	~			契約時にご説明をしています。	どのようなご質問にも、わかりや すい対応を心がけます。
	34)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応 じ、必要な助言と支援を行っているか	~			モニタリング面談の際にお話をお 伺いさせていただいています。そ れ以外にもご希望があれば電話や 面談で相談に応じています。	今後もきめ細やかな情報共有を心 掛けます。
	35)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する 等により、保護者同士の連携を支援しているか				昨年に引き続き、今年度も保護者 会を実施します。	参加される方々のニーズに合わせ て今後も企画していきます。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	~			苦情に繋がりやすい状況を予め想 定し、定期的に対応を振り返って いきます。	苦情対応の方法については契約時 にご説明することに加え、相談室 内に掲示しています。
	37)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡 体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している か	~			HPでブログを公開しています。	左記の通り、継続していきます。
	38	個人情報に十分注意しているか	~			個人情報が記載された書類の管理 や処分方法など、注意するよう呼 び掛けています。	左記の通り、継続していきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮をしているか	~			少しでも気になる様子があるとき は、保護者に伝えるようにしてい ます。	左記の通り、継続していきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた 事業運営を図っているか			✓	地域住民との関りは待てませんで したが、地域資源の開拓の一環 で、放デイ連絡会や発達支援相談 センターの研修やイベント等に参 加しました。	事業所内や地域内での行事参加に ついては、今後ニーズに応じて検 討していきます。
	41)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	~			新人研修に加えて、定期的にマ ニュアルに基づいた研修を行って います。	令和6年度からは業務継続計画に 基づいた訓練、研修も実施してい きます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必 要な訓練を行っているか	~			 8月、12月に訓練を実施しまし た。	実際の状況が想定された訓練を

事業者における放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表:令和6年3月31日 事業所名 オレンジスクール 小岩教室

公表,节和0年3月31日				争耒州石	名 オレノンスクール 小石教室		
	チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	43)	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか	∠			毎年、委員会と研修を実施してい ます。	左記の通り、継続していきます。
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	Z			身体拘束適正化に関わる指針について整備されています。契約の際には、同意書を取り交わしています。	左記の通り、継続していきます。
	45)	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書 に基づく対応がされているか	✓			アレルギーがある子はヒヤリハット事例集と同様に、冊子まとめ、 周知しています。	食事の提供は行っていませんが、 昼食をコンビニで購入されるお子 様もいるため留意していきます。
	46	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有してい るか	~			毎年、虐待防止研修の一環でヒヤ リハット事例集の読み合わせを実 施しています。	左記の通り、継続していきます。

〇この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

事業所自己評価 総評

公表: 令和6年3月31日 事業所名 オレンジスクール 小岩教室

公衣	:: 令和6年3月31日		事業所名 オレノシスクール 小石教室		
職員による自己評価			ご家庭による評価		
環境・体制整備	・お子様に安全に過ごしていただくため、環境の構造化を行っています。教室空間、課題の内容、遊びの種類、指導員との関係性などに対して、「教室が過ごしやすいか」、「意欲や楽しみにつながるか」を考えながら工夫しています。	環境・体制整備	・毎年、バリアフリーの項目について「どちらともいえない」 と回答される方が他と比較して多いのですが、ニーズを加味し ながら対応して参ります。		
児童への支援内容	・学習課題については保護者やお子様の意向も踏まえながら個々の得意さ、苦手さに応じた課題を提供しています。 ・集団活動では、平日はアナログゲームを、学休日は季節の行事に関わるゲームや自己開示、他者理解、相互協力などを目指す活動などを行いました。	児童への支援内容	・「計画に基づき支援が実施されている」と全ての方に回答い ただきました。		
関係機関との連携	・区の発達相談・支援センターでの研修や関係機関が集まるイベントに参加し、情報交換をしました。センター主催の研修では連続講座を受講し、ABAの手法について学びました。	事業所の情報発信	・「会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか」に「いいえ」と回答されている方がいらっしゃいました。		
説明責任・信頼関係	・モニタリング面談以外にも送迎先で顔を合わせた時や電話、 LINEで相談に応じています。	非常時等の対応	・「緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか」に「いいえ」と回答されている方がいらっしゃいました。		
非常時等の対応	・地震や水害、火災にあったときの対応として、消火、通報、 避難訓練を行いました。 なるべく多くの利用者が参加できるように、夏休みや冬休み にまとまった期間をとって実施しました。				

↓ 事業所内で分析した結果 ↓

共 通 点 護者に報告をするようにし、連携を取っています。 ・緊急時対応のマニュアルは策定されているが、「いいえ」と 回答した方がいらっしゃいました。

・「自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか」に「いいえ」と回答されている方がいらっしゃいました。

↓ 事業所内で検討した結果 ↓

点

の

事業所の強-

・事故がないよう日々注意を払いながら環境づくり、課題設定 に留意しています。安全で安心な教室環境の中で、お子様が落 ち着いて、楽しく、過ごせるように配慮しています。 ・地震や水害、火災等を想定した避難訓練に加えて、令和6年度よりBCPに基づいた訓練も実施するため、保護者への周知を同時に行って参ります。

・自己評価の結果について、保護者への周知も行って参りま す。

事業所改善への取り組み

- ・契約の際には、緊急時の対応マニュアルが策定されていることを口頭で説明するだけではなく、実際に見せながらお伝えするようにし ます。
- ・避難訓練、BCPに基づく訓練を行った際にはそれぞれ保護者に周知します。
- ・自己評価の結果について、保護者へ周知します。

自己評価を実施しての感想

今年度も自己評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。新型コロナウイルスが5類に移行し、感染症への張り詰めた警戒心が和らいだ1年となりました。とはいえ、また新たな1年に向け、感染症や自然災害などを含む緊急時の対策をより鮮明にし、どんな場合でもお子様の安全を守っていけるように訓練や研修を行って参ります。